

2923回例会 2016年6月23日(木) Vol.48

★★★会長の時間 粕谷康彦会長



6月19日(日)第5回いるま環境フェアに行ってきました。

秩父山地へと続く広大な加治丘陵の西部に位置する入間市、唐沢沿いの樹林地で深山幽谷を思わせる景観を有しています。クリ、コナラを主とする落葉広葉樹林と、モミ林やスギ、ヒノキ林等の針葉樹林がモザイク状に分布し、この多彩な森林環境に貴重な動、植物が生育するなど多彩な生物の生息地となっています。保全活動を毎月第1、第3土曜日に行っております。自然を大切にすることは緑があって空気がきれいになるという環境に良いところでもあります。加治丘陵は424ヘクタール東京ドームの90倍の広さがあります。そのうち入間市所有の山林について下草刈り、間伐枯損木の伐採をしています。又、丸太階段、道標、山中の栈橋づくりや不法投棄の処理など多岐にわたって活動しています。現在会員187名、賛助会員32社を擁しNPO法人として行っています。リサイクルプラザの取り組みとして入間市総合クリーンセンター〈ゴミ分別アプリ27年6月から配信中〉、小、中学校でのエコ活動は、節電、節水を奨励し、ペットボトルのキャップの回収を行っています。

入間市工業会(松田産業)では携帯電話のリサイクルで、銀コインゴット30キログラム、インゴット金塊1キログラムを製作しています。入間ガス(株)では家庭用電力の販売を行っています。地球資源を有効利用し業を通じて社会に貢献しています。

今年度の例会も来週「鶯啼庵」での最終例会を残し、実質的な例会は今日が最終となります。皆様方には一年間おつきあいをいただき誠にありがとうございました。会長の仕事として「会長の時間」があります。会長の時間ではロータリーの情報を会員の皆様に正確に伝えることが重要とされています。会長として出席した色々な場面や情報を正確に伝えられたかどうか自問自答しております。国際ロータリーの話、地区のセミナー、会長幹事会の議題、大宮RC3、000回例会、創立60周年記念式典、地区大会では齋藤福太郎さんが会員在籍50年、90歳以上の表彰を受けました。忽滑谷幹事さん、晝間SAAさんには一年間本当に有難うございました。忽滑谷さんにはいろいろ事務仕事もしていただき、晝間さんには、例会に早くから来ていただき会場の準備をしてくださいました。木下プログラム委員長には、講師卓話の講師を紹介していただきました。入間基地指令空将補山本祐一様、狭山警察署署長藤井孝雄様、入間消防所所長野口晴康様、入間市市長田中龍夫様、所沢税務署所長中田義直様、村山医療センター統括診療部長谷戸祥之様、入間市教育長西沢泰男様、入間クリーンセンター所長秋元満様、高等特別支援学校長山口伸一様、それぞれの方に有意義なお話をしていただきました。大変貴重な時間を頂きました事を感謝申し上げます。

■■会長・幹事・SAA挨拶■■

晝間和弘SAA挨拶



SAAとして1年間大変お世話になりました。至らぬ点多々あったかと思えます。

例会場は当番会員と協力し設営をして毎回ではございませんが、例会前にクラシ

ック音楽をBGMとして流し、リラックスマードを作りました。

今年に入ってから例会、合同例会を欠席し大変ご迷惑をお掛けしましたが、副SAAの繁田光会員がご協力くださり例会を支障なく行えましたこと、大変感謝しております。

1年間役割を果たせましたのも、会長・幹事・会員の皆様のご厚意と友情だと思います。1年間ありがとうございました。

忽滑谷明幹事挨拶

約一年前に伝統ある入間RCの第57代粕谷康彦会長を支える幹事を仰せつかり、その責任の重さを感じながら、会員の皆様、そして事務局の奥田さん、会報担当の古川さんのご



協力を賜りながら、自分なりに精一杯務めさせていただきました。一年間大変ありがとうございました。クラブ幹事要覧によりますと、幹事としての主な責務は、

- ① 会員記録の整理、保管
- ② 例会、諸会合の通知、その議事録の作成、保管
- ③ R I, 地区への各報告書の作成と分担金の支払い
- ④ 月次出席率の報告

等、クラブ役員と協力し、クラブの効果的運営を担うこととあります。また幹事の元には、クラブ内の情報は勿論、R I, 地区、R財団から様々な情報が寄せられ、常に現況を把握できる立場にあります。そのような情報は寸時に正確に会員に提供しなければなりません、

幹事としてその責務を十分に果たせたかどうかと、また様々な情報をすべて会員の皆さんに満足していただけるように提供できたかという疑問であり反省点ばかりが残ります。

粕谷会長年度の奉仕活動といたしまして、念願だった少年野球大会用優勝旗の寄贈や発達傷害者ヘッドホンの寄贈、また例年通りですが、ゴルフ協会、万燈まつり、入間環境フェア、国際交流協会、わんぱく相撲入間大会、入間市観光協会への協賛を行いました。そして、4月の九州地方の地震災害では、2720地区熊本地震総合支援室に義援金として50万を送金させていただきました。

会員増強活動といたしましては、残念ながら平岡達也会員の退会がありました。金井祐一会員、白幡英悟会員、吉岡信人会員計3名の入会があり純増2名という増強ができました。会員の皆様のご協力に感謝を申し上げます。

来週の最終例会を残し、残り僅かとなりましたが現在の心境を正直に申しあげると、粕谷会長の手助けがもう少し出来たのではないかという、粕谷会長に対し申し訳ない気持ちがあります。粕谷会長は2001年(平成13年)にRCに入会されました。そして14年目にしてやや高齢で会長に就任されました。「親睦による仲間づくり」をモットーに一度も例会を欠席することもなく務められました。ご本人もおっしゃっている通り、真面目だけが取り柄の会長ですから、毎週例会における「会長の時間」での挨拶文の作成や数多くの会合や式典等にも精力的に出席されました。しかしながら真面目な会長ですからその重責に、肉体的にも精神的にもかなり負担がかかったのではないのでしょうか。ご家族からお聞きしましたところ、病院に通われた事もあったそうです。

クラブの例会、移動例会、夜間例会のほかに会長が出席された主な行事といたしましては、7月の少年野球夏季大会、入間基地納涼祭を皮切りに、10月の戦没者追悼式、11月の入間航空祭、入間市表彰審査会、黒須中神山龍一君日本一を祝う会、翌1月には入間基地、入間青年

会議所、入間市商工会の新年賀詞交歓会、2月の交通安全市民大会、少年野球連盟50周年式典、3月の少年野球連盟総会、入間基地観桜会、4月の入間青年会議所創立40周年記念式典、5月の入間市環境まちづくり会議、商工会総代会、大宮RC設立60周年記念式典、豊岡中学校区青少年育成推進会、最後に6月のわんぱく相撲入間大会、環境フェアがありました。その他、それぞれの行事の合間に市内各中学校区の地域交流研修会、第3G会長幹事会、4クラブ合同懇親会等がありました。体力的にもかなりのご負担があったのではないかと存じます。幹事としてもう少しお手伝いが出来たのではないかと今となっては反省をしております。一昨年、粕谷会長より幹事を務めて欲しいと言われ、当初は他に適任者がいらっしゃるのではないかとお断りいたしました。粕谷会長にどうしても言われお引き受けいたしました。超真面目で事前に準備をする厳格な会長と楽天的でその場で対応をする適当な幹事とのコンビで会員の皆さんにはご迷惑をお掛けしたのではないかと存じます。今となっては他の場面では経験できない大変素晴らしい経験をさせていただいたと感謝しております。一年間誠にありがとうございました。

粕谷康彦会長挨拶



この一年、私にとって人生の中で一番思い出深い一年となりました。去年の7月不安と緊張の中、震えるような気持ちで会長の時間に臨んだことは忘れることができません。私の生涯において、ペンを持つことのない人生で、ひたすら力仕事に明け暮れ、商売一筋の生活でした。ロータリーのことを自分の言葉で自分の意見を述べることの難しさを経験し続けた一年間でした。ある方より「粕谷さん会長職を楽しんでやってください」と言われたとき、楽しんでいる余裕などまるでなく、その意味がよく理解できませんでした。しかし後半になり、会長としていろいろな場に出席させていただき、ロータリアンでなければ

決して出会うことのできなかった人たちと出会い、お付き合いができましたことは、ロータリーが自分を大きくしてくれた、と思っております。大勢の皆様のお力添えに支えられながらやっと今日の日を迎えることができました。本当にありがとうございました。今年度は、RI会長のテーマは「世界へのプレゼントになろう」、人生において自分が大切にする責任をおろそかにせず、どうしたら自らも世界にささげられるだろうか。考える時だと思います。私自身今年度の目標として会員増強を何としてでも実現できるようにと願っております。会員増強委員長の齋藤栄作さんのお骨折りをいただき、3名の新入会員が仲間に加わっていただきました。8月に金井祐一さん、11月に白幡英悟さん、3月に吉岡信人さんです。

3人には今後の活躍を期待致します。社会奉仕活動としては、野球を通じた青少年女性健全育成支援活動の一環として、50周年を記念した青少年野球大会用優勝旗を寄贈いたしました。「入間市教育研究所」発達障害児支援事業ではヘッドホーンイヤーマフ16台を寄贈し一定の評価をいただきました。又交通安全啓発幟旗を入間RCでは100本近い本数を造り、狭山警察署管内に立ていただきました。

いたらぬ一年ではありましたが、これで会長の職を終わらせていただきます。有難うございました。

木下登プログラム委員長

粕谷会長の今年重点目標である「友情と思いやり」を基本に、ロータリー月間テーマを盛り込んだ例会プログラムを企画することに努めました。最初は、毎週例会のプログラムは大変だなあ〜・・・「かまえてしまいました。」関谷クラブ奉仕委員長と委員会メンバーの皆様にも恵まれ、又多くの入間ロータリーメンバーの皆様にご協力を頂き、一年間例会を収めることができました。実は昨日、プログラム委員会の反省会と次年度プログラム田中快枝委員長への引継会を行いました。



”しっかり”一年間の回想と次年度への引継をさせて頂きました。

本年度は、毎月親睦委員会とプログラム委員会との合同家庭集会を開催し、入間ロータリークラブの活動状況を把握しながら、例会プログラムを企画することが出来ました。

8月恒例の、納涼会（暑気払い）が都合で開催出来ない為、お月見例会を9/10に開催しました所、お月様は隠れていましたが、メンバーの皆様や家族の皆様の参加で、屋形船のお月見は、大変盛り上がりました。そして10月からの例会は様々な分野で活躍されている方々の卓話は、入間基地司令山本祐一基地司令、狭山警察署長藤井孝雄署長、埼玉西部消防局入間消防署長野口晴康署長、入間市教育長西澤泰男教育長の卓話は、職務にとらわれない話題を話して頂き大変好評でした。

毎年一月の第一例会には、入間市長田中龍夫様の所感ですが田中市長のご都合で一月第2例会になってしまいましたが、田中市長が楽しみにしていたロータリー美術館は、大変喜んで頂きました。家庭集会で齋藤金作会員から一月の第一例会は、「年初めなので良い企画を作るように」とのご意見を頂き・・・私は、用意が無かったので非常に困り果ててしまいましたが、齋藤金作会員から今、映画で話題の『海難 1890』エルトゥール号が和歌山県串本沖で遭難した「日本とトルコ」の話をして頂ける事になり、とても感謝の気持ちでした。そして三月には、ロータリー美術館で「菫崎大村美術館とワインの里」で盛り上がり、健康管理卓話では、誰もが加齢になると「脊柱管狭窄症」になる人が多くなりますが、谷戸祥之医師の解りやすい卓話は、大変好評でありました。

5月に入って、入間わかくさ特別支援学校山口伸一郎校長の卓話は、埼玉県で三番目に出来た発達障がい児等の教育をする、大切な学校であることの内容も素晴らしい卓話でした。本日、紹介出来なかった沢山の講師卓話を頂いた方々、また繋いでいただいたメンバーの皆様へ感謝申し上げます。

一年間を通じて、いろいろな分野の役職の方々に出会えた事や、入間ロータリークラブのプログラム委員長をやらせて頂き、普段では体験できない大変充実した一年でした。改めて、入間ロータリークラブのメンバーに感謝申し上げます。『ありがとうございました』

＜出席報告＞ 馬路宏樹委員長

会員数	出席数	出席率	前回修正率
42名	28名	68.3%	80.0%

事前欠席連絡 5名

＜ニコニコBOX＞ 晝間和弘SAA

粕谷康彦君～今日は最後の例会で、会員の皆様1年間大変お世話になりました。今後ともよろしく願いいたします。

忽滑谷明君～幹事として1年間ありがとうございました。

晝間和弘君～一年間ご協力ありがとうございました。

西山祐三君～粕谷会長、忽滑谷幹事、晝間SAA本日例会場において最後となります。1年間お疲れさまでした。

摂田順一君、吉永章子君～粕谷年度役員の皆様一年間ご苦労様でした。

宮崎正文君～来週の最終例会は所用の為、欠席させていただきます。

友野政彦君、繁田光君、馬路宏樹君～早退いたします。

¥12,000 累計¥852,869

■回覧覧、配布物

- ① 高柳ガバナーからの規定審議会のお知らせ
- ② 埼玉県腎・アイバンク協会総会資料送付
- ③ 入間市扇台福祉作業所地域公開ご案内
- ④ 粕谷年度最終例会出欠表
- ⑤ 他クラブ週報
- ⑥ 入間RC週報47号

発行 **入間ロータリークラブ**

■事務所 〒358-0023 入間市扇台3-3-7 ハイツ齋竹101号 TEL 04-2964-1700 FAX 04-2965-5788 Email iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

■例会場 丸広百貨店入間店6Fバンケットホール TEL 04-2963-1111 ■例会日 木曜日12:30～13:30

■編集委員：岩崎茂 山岸義弘 吉永章子 豊田義継

